

TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信

2021年9月30日第2.7版
2018年5月15日第2.0版

■事業の位置付け

①国全体のサイバーセキュリティ対策の実施において、地方公共団体の中核的組織として、一翼を担う。

②東京都のトータルな中小企業支援の一環で。

■相談窓口業務の柱

①情報の集約：

日々の情報収集・内容の要約・情報の知識化

②発信用情報の作成・蓄積：

知識化した情報をもとに、ユーザレベル毎の普及・啓発用情報の作成・蓄積

③情報の提供（発信）：

・【意識改革】ポータル、ガイドブック、出張相談により、能動的な情報発信

・【課題解決】電話およびメールによる受動的な情報提供

経営者に対しての啓発
組織の存続のためにはITの活用が必要。
そのためにはセキュリティ対策が必須。

課題解決
意識改革

経営者

期待する効果と啓発対象者

経営者がセキュリティ対策の必要性を認識し、具体的な対策を実施できるように



教育・指導



助言・提言

実施指示



経営者

TCYSS

情報の集約

情報交換

国等の機関からの情報発信
NISC
総務省
NICT
経済産業
IPA
警察庁

特に、IPA、NISCとの
情報交換が重要

IPA安心相談窓口との連携
・IPA提供情報の活用
・インターネットでは得られない情報交換
・インシデント相談対応時のホットライン
・相談対応のための情報交換

国としてのガイドライン等

セキュリティ対策関連
ナレッジベース（知識）

情報の内容要約
重要度・緊急度判断

セキュリティ関連情報

情報セキュリティ関連の
情報収集

ニュースサイト
（インターネット情報）

TCYSS参加組織

情報の提供

電話相談
（東京都）

Google検索・
SNS（Twitter・
BookMark等）

直接アクセス

都支援事業等での出張相談・個別助言

具体的な対策を検討する組織には、まず「ガイドブック」を読むことを助言する

知識化した情報をもとに、ユーザレベル
毎の普及・啓発用情報の作成・蓄積

インターネットでは
得られない情報の
集約が重要

セミナー等での普及
啓発活動
（警視庁・TCYSS
参加組織）

ガイドブック

電子書籍
（PC、タブレット、
スマホで読めるもの）

冊子体

利用者が事前・緊急時どこでも見られるように
（ワンソースマルチユース）

TCYSS課題

・意識啓発活動・情報共有・相談体制・事案発生時の相互連携が機能していない

TCYSS普及啓発活動の柱

▶ TCYSS事業の位置付け

- ▶ ①国全体のサイバーセキュリティ対策の実施において、地方公共団体の中核的組織として、一翼を担う。
- ▶ ②東京都のトータルな中小企業支援の一環で。

▶ ■相談窓口業務の柱

- ▶ ①情報の集約：
 - ▶ 日々の情報収集・内容の要約・情報の知識化
- ▶ ②発信用情報の作成・蓄積：
 - ▶ 知識化した情報をもとに、ユーザレベル毎の普及・啓発用情報の作成・蓄積
- ▶ ③情報の提供（発信）：
 - ▶ ・【意識改革】ポータル、ガイドブック、出張相談により、能動的な情報発信
 - ▶ ・【課題解決】電話およびメールによる受動的な情報提供



TCYSS普及啓発活動の情報発信

▶ 目的

- ▶ 東京都の多くの中小企業が、ITを活用したビジネス展開をする際に、セキュリティ問題が阻害要因にならないように、セキュリティ対策の普及を促進する。
- ▶ 有用な情報発信元として広く認知され、情報が活用されることにより、意義ある組織として事業が継続できる
 - ▶ 多くの中小企業の経営者、管理者に向けて、ポータルサイトから、体系的・網羅的な情報をタイムリーに発信。
 - ▶ 多くの中小企業に情報を届けて、有用な組織と認識されれば、活用され、組織の目標の達成を見込める。

▶ 情報発信の流れ

- ▶ 知識の蓄積
 - ▶ IT・セキュリティに関連した最新情報を、体系的・網羅的に収集、中小企業向けに知識化
- ▶ 知識を広く発信
 - ▶ ポータルサイトから、体系的に整理した知識を、タイムリーに発信。
 - ▶ 定期的な発信がないサイトはアクセスが増えない
- ▶ 発信情報の伝搬の促進
 - ▶ 発信情報が広く普及（伝搬）されるようにするために、アクセスルートを増やす
- ▶ 留意点
 - ▶ 有用と認識されない情報発信を増やして、件数を稼いでも、組織の存立意義は認識されない。



情報発信と、情報の伝搬の促進策

- ▶ 有用な情報発信
 - ▶ ガイドブックの内容のタイムリーな更新
 - ▶ IT活用の促進方法、セキュリティ対策の促進に関するホットな情報へ案内
- ▶ 情報の伝搬の促進策
 - ▶ サイトのアクセス状況
 - 「ポータル」のトップページのアクセスは、「ガイドブック」のトップページよりもアクセスが少ない
 - 各ページは、Googleの検索からダイレクトにアクセスされているケースのほうが多い
 - ▶ 情報の伝搬ルート
 - 「極意」ポータルのページの都度更新 ⇒ Google検索ロボットが収集
 - ポータルでの更新内容を「更新情報」に掲載 ⇒ Google検索ロボットが収集
 - ポータル内の情報(1件/週程度)
 - 「更新情報」をTwitterからツイート ⇒ Retweet、いいね、により広く拡散される
 - 更新内容を「はてなブックマーク」等のソーシャルブックマークに投稿 ⇒ タグ検索でリストアップされる
 - 外部機関からのホットな情報の発信(1件/日程度)
 - 詳細な補足が必要であれば、ポータル内にトピックスのページを作成し、Tweet。
 - Twitterで提供されたツイートをReTweet、簡単な補足が必要であれば、コメント付きReTweet。
 - Twitterのフォロアーが増えてくれば、その中でポータル内の情報へのリンクをTweetすることが有効になる。



IPA安心相談窓口との連携

- ▶ IPA提供情報の活用
- ▶ インターネットでは得られない情報交換
- ▶ インシデント相談対応時のホットライン
- ▶ 相談対応のための情報交換



TCYSSとしての普及啓発活動の課題

▶ TCYSS課題

- ▶ TCYSSメンバー間で、意識啓発活動・情報共有・相談体制・事案発生時の相互連携が機能していない



ポータルサイト内に「知識の貯蔵庫」セクションの追加

▶ 目的

- ▶ 専門員が調査分析した情報を知識として蓄積する。
- ▶ 蓄積した知識をもとに、要約して、ガイドブック等で発信する。

▶ 「セキュリティの部屋」

- ▶ ①ガイドブック
- ▶ ②～④サイバー脅威情報、東京都の取組、外部の情報紹介
- ▶ ⑤【新設】知識の貯蔵庫（ナレッジベース）【工事中】
 - <https://cybersecurity-tokyo.jp/security/KnowLedge>
 - ▶ ガイドブック内容解説（虎の巻）
 - ▶ 国等の施策・計画文書・白書・解説書
 - ▶ 参考情報【経営者、管理者向け】
 - ▶ 参考情報【一般ユーザ向け】

▶ レベル2以降

- ▶ ガイドブック内容解説（虎の巻）
 - ▶ ガイドブック内容の補足説明資料
 - ▶ お役立ちリンク」のリンク先の資料の内容要約
 - ▶ サイバーセキュリティ関連組織が開設するポータルサイト
- ▶ 国等の施策・計画文書・白書・解説書
 - ▶ 基本文書（法律・基本計画・各種方針等）
 - ▶ 基本文書（サイバーセキュリティ関連）
 - ▶ 各種白書・年次報告書類
 - ▶ NIST文書・情報セキュリティマネジメント関連

▶ レベル2以降（続き）

▶ 参考情報【経営者、管理者向け】

- ▶ サイバーセキュリティ全般
- ▶ DX関連
- ▶ テレワーク関連
- ▶ AI関連
- ▶ IoTセキュリティ関連
- ▶ IT-BCP関連
- ▶ インシデント対応
- ▶ 個人情報保護関連
- ▶ システム開発・運用
- ▶ 人材育成
- ▶ 法令・規則
- ▶ ...

▶ 参考情報【一般ユーザ向け】

- ▶ インターネット利用
- ▶ ECサイト利用
- ▶ 電子メール
- ▶ SNS
- ▶ ...